



さくらんぼ通信

つくば市議会議員

～山本みわ活動報告～



2011年 夏号
5号

編集・発行 山本美和 〒305-0035 つくば市松代2-21-10 Tel & Fax 029-854-7676

暑中お見舞い申し上げます。

東日本大震災、原発事故一被災者支援そして復興

日頃より、温かいご支援・ご声援に心より感謝申し上げます。

また、このたびの東日本大震災で被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

未曾有の東日本大震災。つくば市でも大きな被害がありました。私たち公明党つくば市議団では、真っ先に被害状況の確認に歩き、情報の発信をしました。又、災害義援金、支援物資の提供、避難所への支援などに取り組んできました。

公明党は現場第一主義で行動します。「 **一番近くで、動く、働く** 」

防災体制に関する要望書提出

防災体制・支援施策・弱者対策など33の事項にまとめ、市に要望いたしました。



(5月6日)

つくバス・つくタク 路線調査・要望書提出

今年4月に改編されたつくバス・つくタクの路線調査を行い、皆様の声と共に20項目の要望にまとめ、提出いたしました。

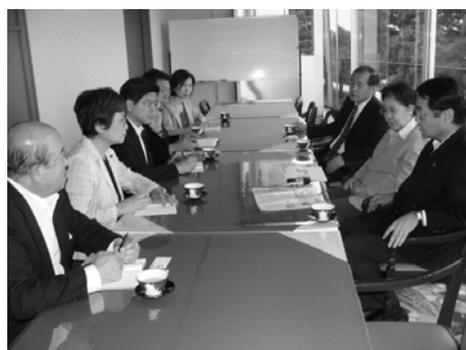
(5月31日・6月3日)



筑波山観光の現状調査

公明党政調会長の石井啓一衆議院議員(つくば市在住)に筑波山観光の現状と声を聴いていただきました。

(6月18日)



公民館が「地域交流センター」 になってどう変わる？

社会教育の拠点から生涯学習の拠点へ、行政側の視点から市民の側の視点へと変化させ、更に地域のための拠点としての役割を見直すとのことですが、市民にとっては、「施設名称が変わった」「使用料金が発生した」ということしか実感できないのが現状です。

市民への丁寧な説明、意見を聞いて一緒に取り組みながら変化させていくプロセス、そして何よりも職員の意識変革・準備が十分でなかったのではないかとこのことを指摘し、今後の取り組みについて質問しました。

⇒（市答弁）利用者意見交換会を今夏、開催し、市民の皆さんの意見を聞きながら取り組んでいきたい。

【6月議会 ダイジェスト】

- ◆「原発事故収束・エネルギー政策転換を求める意見書」を採択しました。
- ◆ 議会インターネット中継を9月議会からスタート！します。開かれた議会目指し 第一歩！

給食センター建替えは 危機管理をしっかりと！！



発達障がい支援は連携と 体制づくりが重要！



発達障がいの支援には、関係機関（保健福祉部・教育委員会・医師）の連携と、サポート体制を作りあげていくことが重要です。平成22年12月議会での質問後の取り組みについて質問しました。

⇒（市答弁）今年度より、臨床心理士による発達障害相談を開設。今後も、関係機関との連携を深め取り組んでまいります。

発達障がいの診断そのものは医師がします。また、最後は就労が大きな課題になってきます。周囲や教師の理解も必要です。

相談支援ファイルなどの取り組みを含め、今後も支援体制づくりを進めていきたい。



子育て総合支援センターは 子育て支援のリーダーシップをとって！

6月議会 こんな質問しました！



防災行政無線・防災ラジオの整備いそげ！

このたびの震災では、一番懸念されていた電気の供給と通信手段を失いました。災害発生時に、いち早く正確な災害情報や避難場所、ライフラインについての情報を伝え、**安心感**を得ることが最も重要です。行政としては、**災害発生当初の混乱防止**が一番大事で、その後の対処に大きく響きます。

人はなぜ混乱するのか…「いつまで続くのか」「どこへ行けばいいのか」「どこに聞けばいいのか」**わからないということが混乱の原因**だと言われています。

広報車で回れる程度であれば非常時ではありません。しかも今回は燃料（ガソリン）不足の問題もありました。



東京では、御蔵島を除く全市町村で、同報系の**防災無線を整備**し防災本部長である首長の第一声を、一斉に周知させようとしています。**非常時に公用車を使用するなど論外**だとしています。しかも、滞在者といわれる、通勤者・通学者への情報伝達方法としているとのこと。

また、今は、**防災ラジオの併用で情報伝達網を網羅**している事例も多く見られます。

つくば市では、荃崎地区のみ荃崎町時代からの継続で、防災無線が整備されています。土浦市では、長い間の検討の末、ちょうど震災直前に整備したところで、その必要性が立証されました。

同報系防災無線の整備と、**戸別受信システム、防災ラジオ**としての**ラヂオつくばとの提携**など早急な情報伝達体制整備をはかるよう質問しました。

⇒（市答弁）全市内設置には**600基**ほど必要になります。地域性を考え、優先順位をつけ、筑波地区から順次検討していきたい。

ラヂオつくばとは今回も防災ラヂオとして委託契約しました。今後もよく検討していきます。

【一般質問項目】

1. 緊急時の情報連絡体制の整備（特に防災行政無線の整備）について
2. 子育て総合支援センターについて
3. 発達障がい支援について
4. 女性特有のがん検診について
5. 地域交流センター基本計画について
6. 学校給食について

今、なぜ、国民健康保険税の値上げなのか？

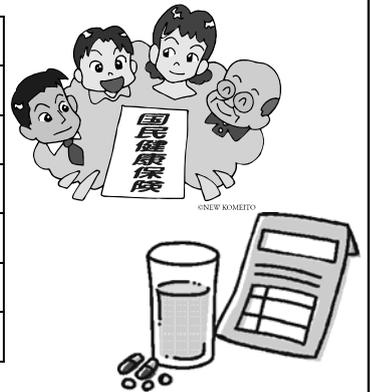
つくば市の国民健康保険加入世帯数は、市の全体の世帯数の約30%（28,858世帯）。被保険者数は全体の人口の25%（52,817人）になります。

国民健康保険税は、国からの国庫交付金や保険税などだけでは不足する分について、一般会計からの繰入金で補てんしています。

つくば市は医療環境も充実していることから、医療費は年々増加しています。**赤字補てん額は、ここ数年、1億円ずつ増加し、23年度は7億円を超える状態**でした。これは、被保険者1人あたりの補てん額にすると約13,500円となり、全国平均1人あたり約1万円より、かなり高くなってしまいます。

ですので、**赤字補てん繰り入れを全国平均1人あたり約1万円程度**にし、繰り入れ総額については22年度より1億400万円増で、5億2,500万円とする取り組みをした上で、残りの分について加入者に負担してもらうというものです。

項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度
国保世帯数	28,858	28,152	26,792
被保険者数	52,817人	52,320人	50,713人
保険給付費	11,613,186千円	11,349,388千円	10,548,280千円
前年度比較	263,798千円増	801,108千円増	50,489千円減
伸び率	2.3%	7.1%	-0.5%
赤字補てん額	525,724千円	421,342千円	362,596千円



一般会計からの繰入金を増やして値上げしないように、との声もありますが、不足額のすべてを一般会計から繰り入れることは、何らかの市民サービスの中止・縮小につながります。また国民健康保険に加入していない他の7割の世帯の市民（共済・組合保険加入者）との税の公平性を欠くことにもなってしまいます。

今回の**5年ぶりの改定**は、**1人当たり年間平均3,300円の引き上げ**になります。一番懸念された**低所得者（国保加入者の3割）の保険税**については、**年間300円の引き上げ**となるよう負担軽減しています。22年度にもすでに低所得者に対しては、保険税軽減制度を改定し、6割4割軽減から、7割5割2割軽減へと負担軽減を図りました。

保険税が高くなり、加入者の負担が増えることは、決して望むものではありませんが、市民が安心して医療にかかれるように医療費に見合った収入を確保し、国民健康保険制度の維持をしていく必要があると考えます。今回は、**一般会計からの繰り入れ増額を行いつつ、低所得者世帯への最大限配慮をした改定であると判断し、公明党としてやむを得ず賛成いたしました。**

最後に、市民に配布されたチラシの中で、市民の不安を必要以上にかきたてるような書き込みがありますが、今後、市民へのわかりやすい説明を市に要望してまいります。

つくば市防災体制、33項目の見直し要望

私たち公明党つくば市議団では、震災後、真っ先に被害状況の確認に歩き、FAX・ブログ・メール・Twitterなどを通し情報発信をしました。また、災害義援金、支援物資の提供、避難所への支援、被災地へのボランティアなどに取り組んでまいりました。

その中で、具体的な課題を防災体制・支援施策・弱者対策など33項目にまとめ、5月6日につくば市へ要望いたしました。

特に今回の大震災発生後のつくば市における対応について、早急に検証し、「つくば市地域防災計画」について見直しを行うことが必要です。

①【地域防災計画の早急な見直し】

実際に役立つマニュアルを！

②【国・県・市内研究機関との連携体制】

つくば市の知の利を活かす連携を！

③【防災情報の伝達について】

緊急時の第一報・情報をどう伝えるのか

④【避難所について】

避難所はどこ？誰が受け入れてくれるの？

⑤【災害時要援護者対策について】

高齢化社会で、考え直していかなきゃならないですね。

⑥【市民や地域の防災力向上について】

いざという時は、隣近所が一番大事！

⑦【住民生活支援等について】

被害から立ち直るために、こういう時こそ援助が必要！

⑧【県外からの避難者支援について】

避難所だけでなく、就労・生活支援まで考えていきたい。

⑨【公共施設やライフライン関連設備の耐震化・老朽化対策について】

公共施設も30年以上経ち、長期計画でしっかり見直し・対策を！

⑩【更なる防災体制構築のための基盤整備について】

職員の「危機管理意識」育て、人事体制にも反映を！



6月の活動

- 6月1日 議会開会
- 3日 公明党市議団つくバスつくタク調査
第2弾
- 4日 公明党茨城県本部大会
- 5日 東日本大震災復興支援イベント
(上野公園)
- 6日 発達障害支援について懇談
- 7日 自治基本条例勉強会
(千年一日珈琲焙煎所)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 自治基本条例学習会
(市民ネット主催)
- 13日 本会議(一般質問、議案質疑)
- 14日 文教福祉常任委員会
- 15日 公明党つくば支部大会
- 17日 児童擁護施設訪問
- 18日 公明党つくば市議団
筑波山観光現状調査
- 20日 議会最終日、採決
- 21日 つくカフェ・ママ
(テーマ：障害児支援)
- 25日 筑波子どものこころのクリニック
内覧会(つくば市大角豆)
- 26日 自治基本条例地区別ワークショップ
(谷田部地区)
- 27日 公明党第6総支部議員会(下妻市)
- 29日 つくバス・つくタク要望書提出
・交通政策課意見交換会
自治基本条例WT傍聴
- 30日 放射能汚染から子どもを守ろう@
守谷「放射線リスク講演会
研学まちづくり検討会傍聴

上記以外は挨拶まわり、ご要望・ご意見を伺ったり、市民相談、さくらんぼ通信配布、街頭活動、地域活動などとしています。

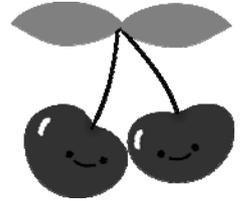
"ブログ・ツイッターにて日々の
活動報告をしています。
ぜひご覧ください"

↓
山本みわ 議員活動日記
<http://miwa.livedoor.biz/>

ツイッター
miwatsukuba



大好きなつくばの未来 あなたと一緒につくりたい!



さくらんぼ通信の"さくらんぼ"は私のトレードマークにしています。『あなたとわたし』そして、私の大切な『2人の子ども』と常に一緒に...そういう思いを込めました。



山本みわプロフィール

1969年東京都練馬区生まれ
創価大学教育学部児童教育学科
卒業

公明党つくば支部副支部長
つくば市議会議員1期
文教福祉常任委員会委員
安心安全調査特別委員会副委員長
議会改革調査特別委員会委員

国民健康保険運営協議会委員
学校給食センター運営審議会委員

元松代小学校父母と教師の会会長

【生活信条】「笑顔と感謝」
【趣味】楽器演奏(ピアノ、
打楽器、リコーダー)
【家族】夫・一男一女・母の
5人家族

〒305-0035
つくば市松代2-21-10
TEL&Fax 029-854-7676
Email:
miwa_tsukuba@ybb.ne.jp